

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

「日医標準レセプトコンピュータ」システム（以下、本システムという。）におけるユーザプログラム起動について試用を行い動作検証と仕組みを理解いただくための説明書である。

### 1. 概要

この機能は、受付業務、患者登録業務、診療行為業務より患者処理が終了した時点で、本システムには実装されていない処理（ユーザが作成した処理プログラム）を実行することを目的とした機能である。よって、本システムには実行する処理プログラムは存在しないので、ユーザが作成した処理プログラムがあることを前提とする。

### 2. ユーザ処理プログラム

本システムからユーザ処理プログラムを実行する場合は、スクリプトをシステム管理情報に登録して行う。そのスクリプトを含めその中から実行するコマンドプログラム、処理プログラムなどはユーザがすべて作成するものとする。

以下、試用を行うためにサンプルを用意した。

サンプルスクリプトは本システムのソースを取得し、その中の doc/examples/upsample01.sh であるので準備されたい。（以下のような内容である。）



```
#!/bin/sh
. /etc/jwa-receipt/jwa-receipt.env
PARAMFILE=/tmp/userparam.txt
-----
# ユーザプログラム起動（サンプルスクリプト）
# $1 処理PG（画面名）
# $2 処理状況
#   1:追加 2:更新 3:削除
# $3 システム日付
# $4 診療日
# $5 患者ID
# $6 患者番号
# $7 診療科
# $8 ドクター
# $9 保険組合せ
# ${10} 処理・帳票名
# ${11} プリンタ名
-----

echo "処理PG（画面名）："$1">> $PARAMFILE
echo "処理状況："$2">> $PARAMFILE
echo "システム日付："$3">> $PARAMFILE
echo "診療日："$4">> $PARAMFILE
echo "患者ID："$5">> $PARAMFILE
echo "患者番号："$6">> $PARAMFILE
echo "診療科："$7">> $PARAMFILE
echo "ドクター："$8">> $PARAMFILE
echo "保険組合せ："$9">> $PARAMFILE
echo "処理・帳票名："${10}">> $PARAMFILE
echo "プリンタ名："${11}">> $PARAMFILE

#
# 3085TB -dir $DOEFDIR/directory -bd ***** XXXXXXXX -parameter $1,$2,$3,$4,$5,$6,$7,$8,$9,$10,$11
#
exit
```

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

このスクリプトが実行されると、/tmp/userpgparam.txt というファイルが作成される。ファイルの内容は、本システムからスクリプトが実行された時に渡されたパラメータの内容を記録している。よって、作成する処理プログラムは渡されたパラメータから患者を特定し、必要な処理を行う内容であればよい。

### 3 . ユーザ処理プログラムに渡されるパラメータ

本システムからユーザ処理プログラムに渡されるパラメータは以下の内容である。

#### ( 1 ) 処理プログラム ( システム側 )

ユーザ処理プログラムを起動した業務画面を識別するためのものである。

現在は以下の3つの値しかない。

- ・患者登録業務 : P 0 2
- ・受付業務 : U 0 2
- ・診療行為業務 : K 0 3 ( 請求確認画面 )

#### ( 2 ) 処理状況

ユーザ処理プログラムを起動した業務画面で患者情報に対してどのような処理を行ったかを識別するものである。

- ・追加処理 : 1
- ・更新処理 : 2
- ・削除処理 : 3

#### ( 3 ) システム日付

システム日付を西暦8桁で表したものをセットする。業務画面の環境設定で日付を変更した場合は、その日付をセットする。

#### ( 4 ) 診療日

受付業務、診療行為業務では、画面に表示されている診療日を西暦8桁で表したものをセットする。

#### ( 5 ) 患者ID

患者IDをセットする。

#### ( 6 ) 患者番号

患者番号をセットする。

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

### ( 7 ) 診療科

業務画面で選択表示された診療科に対するコードをセットする。ユーザプログラム起動指示画面により変更された場合はその診療科に対するコードをセットする。

### ( 8 ) ドクター

業務画面で選択表示されたドクターに対するコードをセットする。ユーザプログラム起動指示画面により変更された場合はそのドクターに対するコードをセットする。

### ( 9 ) 保険組合せ

業務画面で選択表示された保険組合せに対する保険組合せ番号をセットする。ユーザプログラム起動指示画面により変更された場合はその保険組合せに対する保険組合せ番号をセットする。

### ( 10 ) 処理・帳票名

システム管理情報に登録された処理プログラムの内容を表す名称をセットする。

### ( 11 ) プリント名

システム管理情報に登録された処理プログラムで使用するプリント名をセットする。ユーザプログラム起動指示画面により変更された場合はそのプリント名をセットする。

## 3 . 試用

患者登録からユーザ処理プログラムを起動する方法を具体的に説明する。

ユーザ処理プログラムは診察券発行を想定する。

### 3 - 1 . ユーザ処理プログラムのインストール

ユーザ処理プログラムは、site-upgrade.sh にて自動リコンパイルが可能なようにするため /usr/local/site-jma-receipt/以下に配置することを推奨する。

サンプルスクリプトを /usr/local/site-jma-receipt/scripts/allways/ に複写する。

次に、 /usr/lib/jma-receipt/scripts/allways/site-upgrade.sh を実行する。

これにより実際には、 /usr/lib/jma-receipt/site-lib/scripts/allways/upsample01.sh に複写される。

### 3 - 2 . ユーザ処理プログラムの登録

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

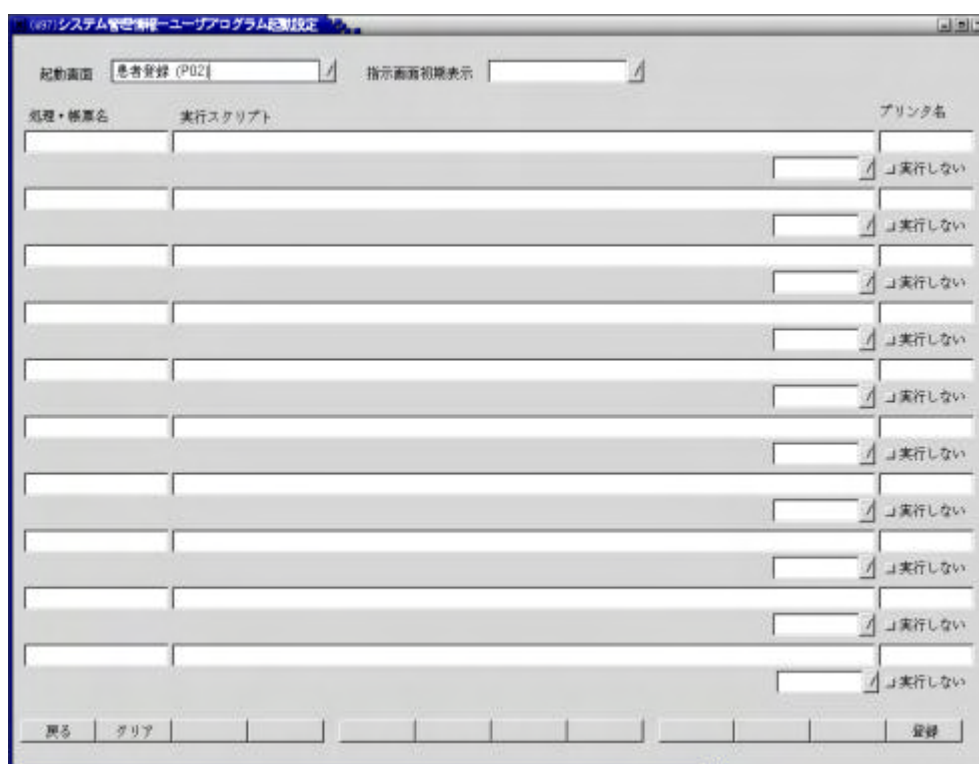
システム管理「9700 ユーザプログラム起動情報」で設定を行う。

(1) 起動画面の設定を行う。

ユーザ処理プログラムを起動できる業務画面は、

- (a) 患者登録 (P02)
- (b) 受付 (U02)
- (c) 請求確認 (K03)

がある。



処理・帳票名	実行スクリプト	プリンタ名
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない
		実行しない

ここでは、患者登録からユーザ処理プログラムを起動するので「患者登録 (P02)」を選択する。

(2) 指示画面初期表示の設定を行う。

設定内容は以下の2つである。

- 「0 表示しない」
- 「1 表示する」

診察券を発行することを考えると患者情報の新規登録の場合がほとんどであり、その他としては

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

診察券の再発行くらいである。よって、毎回患者情報を更新するたびに発行するものではないので発行指示を行うため「1 表示する」と設定する。

### (3) 処理・帳票名の設定を行う。

処理・帳票名は任意の名称を入力する。  
ここでは、「診察券発行」とする。

### (4) 実行スクリプトの設定を行う。

実行スクリプトは/usr/lib/jma-receipt/site-lib/scripts/ 以下に配置されているのでそこからのパスを入力する。

ここでは、allways/upsample01.sh とする。

### (5) プリンタ名の設定を行う。

プリンタ名はユーザ処理プログラムがプリンタ出力を行う場合、出力先プリンタ名の初期値を入力する。

ここでは、診察券発行なのでプリンタからの出力ではないため設定はしない。

### (6) 処理形態の設定を行う。

ユーザ処理プログラムが、画面指示が必要であるか、あるいは、どのような場合でも必ず起動するものであるかの設定を行う。

設定内容は以下の2つである。

- 「1 画面指示」
- 「2 全部実行」

「2 全部実行」とは、ユーザ処理プログラムが特にパラメータの変更もなくどのような場合でも必ず実行する場合に設定をする。指示画面初期表示の設定を「0 表示しない」とし、「2 全部実行」とすれば、業務画面で登録をした後、指示画面は表示されず、ユーザ処理プログラムは実行されることになる。

ここでは、診察券なので前述したとおり毎回発行するものではないので「1 画面指示」を選択

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

する。

### (7) 実行フラグを設定する。

実行フラグは、このユーザ処理プログラムを実行するか否かを決定するものである。  
設定内容は以下の2つである。

「実行する」

「実行しない」

これを「実行する」と設定しない限り実際には起動できない。

このフラグは、ユーザ処理プログラムが常時必要ではない場合で、必要な時にのみ「実行する」と変更して処理を起動することを想定したものである。また、常時処理は行っているが、なんらかのトラブルのためそのユーザ処理プログラムのみ起動を停止したい場合の措置のためでもある。

ここでは、「実行する」とする。

以上、設定ができたなら「登録」を押下する。

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

### 3 - 3 . 患者登録画面からの操作

初期画面では、システム管理の設定により指示画面の表示ありがデフォルトとなっている。

【試用説明書】ユーザプログラム起動

(1) 患者を呼び出し「登録」を押下する。

The screenshot shows a patient registration form with the following fields and values:

- 00008 日医 太郎 男 544.11.11 旧姓
- 受付: 基本情報 | 保険組合せ履歴 | 連絡先等 | 所得者情報 | 入力履歴
- カナ氏名: ニナイ タロウ 性別: 1 男 死亡区分: 遷名
- 漢字氏名: 日医 太郎 生年月日: S44.11.11 35才 0 カルテ発行なし 1 U・P 指示あり 0 患者
- 保険者番号: 138057 保険の種類: 060 国保 保険者名: 文京区
- 本人家族: 1 本人 補助: 3 3 別 種別: 番号: 0001 保険組合せ: 国保 H17.4.1 ~ 9999999
- 記号: 白あいう 所在地: 東京都文京区春日 1-16-21 電話: 03-3812-7111
- 番号: 123 有効期間: H17.4.1 ~ 99999999 確認年月日: H17.10.18
- 被保険者名: 日医 太郎
- 負担者番号: 公費の種類: 受給者番号: 適用期間: 確認年月日: 未
- 住所: 電話 自宅: 通社先: 減免事由: 00 該当なし 割引率: 00 該当なし 入金方法: 01 現金
- 世帯主名: 日医 太郎 納税: 状態: 00 該当なし 00 該当なし 00 該当なし
- 禁忌: アレルギー: 感染症: コメント:
- 再発行 | 保険追加 | 公費追加 | ←タグ切替 | 氏名検索 | 予約登録 | 患者検索 | 登録



## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

(2) 指示画面を表示するとなっているので、指示画面が表示される。

処理・帳票名にカーソルがあるので「Enter」キーを押下して進める。

プリンタ名まで進んで「Enter」キーを押下した場合、あるいは、「追加登録」(F8キー)を押下した場合に処理を予約する。

0001 ユーザプログラム起動

00008 日医 太郎 男 54.11.11 診療年月日 H17.10.18

【更新処理】

番号	処理名・帳票名	診療科	ドクター	保険組合せ	プリンタ名
----	---------	-----	------	-------	-------

選択番号 処理・帳票名 診療科 ドクター 保険組合せ プリンタ名

診療券発行 01 内科 [ ] C001 国保 [ ]

戻る クリア 削除 追加登録 実行

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

(3) 「実行」を押下して処理を起動する。

番号	処理名・帳票名	診療科	ドクター	保険組合せ	プリンタ名
001	診療券発行	内科		国保	

(4) 確認メッセージに対し応答する。

「OK」を押下すると実際にユーザ処理プログラムが起動される。画面はそのまま指示画面へ戻る。

「戻る」を押下するとユーザ処理プログラムは起動されず、指示画面に戻る。

0101

処理を実行します。よろしいですか?

戻る OK

(5) 指示画面からの復帰は、「戻る」を押下する。

これは、繰り返し発行を行うケースを想定したので直接元の業務画面へ戻ることは止めた。

### 3 - 4 . ユーザ処理プログラムの起動確認

/tmp/userpgparam.txt が作成されているか確認し、ファイルの内容を確認する。



【試用説明書】ユーザプログラム起動

(2) 診療行為 (請求確認)

00008 ニテイ タロウ 男 0001 国保 (138057) 30%

H17.10.19 日医 太郎 S44.11.11 35才 01 内科

発行日 H17.10.19 伝票番号

	保険分 (点)	自費分 (円)	その他自費		薬剤一部負担	初診
			消費税なし	消費税あり		
診療料	274					
指導料						
在宅料						
投薬料						
注射料						
処置料						
手術料						
検査料						
X線料						
その他						
合計点数	274					

消費税 820

入金方法 01 現金 入金の取扱い 1 今診請求分のみ入力

前回までの入金 前回までの返金 合計手取額 820

請求書簿収書 1 発行あり 院外処方せん 1 発行あり 請求情報 0 発行なし ドクター

(発行方法) 1 診療料・保険組合せ別に発行 U・P 0 U・P 指示なし

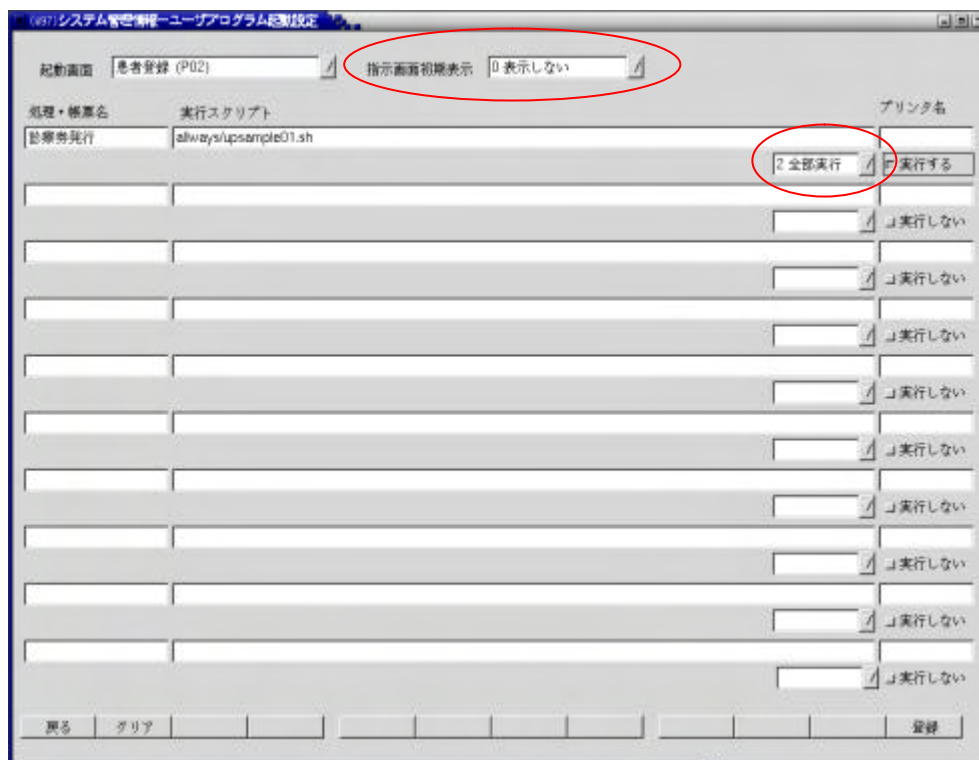
戻る 調整 保険切替 診療料切替 登録

## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

### 5 . 参考

5 - 1 . 指示画面を表示しないケースを紹介する。

システム管理「9700 ユーザプログラム起動情報」の設定で「指示画面初期表示」を「0 表示しない」とし、「処理形態」を「2 全部実行」とする。



## 【試用説明書】ユーザプログラム起動

患者登録画面では、指示画面の表示なしが初期値となっている。これで、「登録」を押下する。

The screenshot shows a complex form for patient registration. Key fields include:
 

- 受付 (Reception): 00008
- 基本情報 (Basic Information): 日医 太郎 (Dr. Taro), 男 (Male), 544.11.11 (DOB), 35才 (35 years old)
- 保険 (Insurance): 138057 (Insurance No.), 060 国保 (Insurance Type)
- 住所 (Address): 東京都文京区春日 (Chiyoda-ku, Tokyo)
- Buttons: 再発行 (Re-issue), 保険追加 (Add Insurance), 公費追加 (Add Public Fee), etc.

指示画面は表示されず、患者登録の初期画面に戻る。

/tmp/userpgparam.txt を確認するとユーザ処理プログラムが起動されたことが確認できた。

(この処理を行う前に環境設定で日付を10月19日に変更している。)

```

処理PG (画面名) : P02
処理状況 : 2
システム日付 : 20051019
診療日 : 20051019
患者ID : 0000000007
患者番号 : 00008
診療科 :
ドクター :
保険組合せ :
処理・帳票名 : 診察券発行
プリンタ名 :
~
~
~
/tmp/userpgparam.txt:
    
```

5 - 2 . ユーザ処理プログラムを作成する上での留意事項

システム管理に登録するユーザ処理プログラムは、1つの業務画面から最大10まで登録が可能である。

ここで、登録した各処理は、実際には同時に起動実行することになる。よって、1つずつ順番に処理を行いたい場合は、複数の処理を1つのスクリプトから実行するようにし、システム管理に登録するユーザ処理プログラムは、そのスクリプトのみとしていただきたい。

